



日 曜		11月主な行事	授業日数 19日
1	日		16 月
2	月	振替休業日	17 火
3	火	文化の日	18 水
4	水	開校130周年記念講演会（夢育み授業）	19 木
5	木	3・4年社会科見学 5年サッカー大会 体重測定(低)	20 金
6	金	体重測定(中)	21 土
7	土	★幡羅公民館祭り（八木節クラブ出場）	22 日
8	日		23 月
9	月	全校朝会 体重測定(高) 一斉下校	24 火
10	火	演劇鑑賞教室	25 水
11	水	1・2年生活科見学 5年社会科見学 ※弁当の日	26 木
12	木		27 金
13	金	特別日課3時間・給食なし(深谷市内研究発表会参加)	28 土
14	土	県民の日	29 日
15	日		30 月

※11月20日の5校時、6年1組は算数の授業を、6年3組は外国語活動の授業を、市内小中学校の先生方に公開します。当該学級の児童の下校時刻は午後2時35分となります。ご了承ください。

★子どもたちの活躍★

【6年親善運動会 入賞】

【8年総合運動会 入賞】				
★100m男子	5位	佐藤 陽平 ようへい (14秒3)		
★60mハードル男子	8位	石橋 拓哉 たくや (10秒9)		
★走り高跳び男子	7位	坂本 楓太 ふうた (115cm)		
★走り高跳び女子	5位	武政 結依 ゆい (115cm)	9位	野口 琴海 ことみ (115cm)
★ボール投げ男子	3位	磯部 隼汰 しゅんた (51.57m)		
★ボール投げ女子	8位	菅野 咲 さき (37.75m)		
★学級対抗縄跳び	8位	6年1組(431回)	10位	6年3組(415回)
	※12位	6年2組(406回)		

【郷土を描く児童生徒美術展 入選】

★入選

2年	栗原 亮真	村田 剛志					
3年	茂木 紗樹						
4年	根岸 美里亜	湯本 一瑠					
5年	正田 ひなた	鳴海 天音	林 真聖				
6年	平野 未芽	吉野 翔登	山口 桜空	武政 結依			

★特選

6年	橋本 莉奈						
----	-------	--	--	--	--	--	--



【深谷市読書感想文コンクール】

★入選	1年	石川 裕菜 ゆな	2年	加藤 百合子 ゆりこ	3年	田村 美緒 みお
	5年	茂木 梓紗 あずさ	6年	大屋 芽衣 めい		
★特選	4年	徳永 帆隆 はたか				



【「深谷市」手紙でつむぐ『ありがとう』の思い】

★優秀賞	2年	栗田 悠史 ゆうし
------	----	--------------------------

【深谷市児童生徒協議会参加（10月22日）】

6年	野口 琴海 ことみ
----	--------------------------

6年	田中 京太郎 きょうたろう
----	------------------------------

【深谷市小学校音楽会（10月28日）】	★4年2組 30名	伴奏：新井仁菜 にいな	菅原彩花 あやか
---------------------	-----------	----------------------------	-------------------------



平成27年度 学校だより 11月号



「はたら」

元気のある幡羅小
あいさつと笑顔があふれる幡羅小

深谷市立幡羅小学校
平成27年 10月 31日



「継続は、力なり」 ～一つ一つの積み重ねをしっかりと～



10月5日、6日と、2日続けて日本人研究者がノーベル賞を受賞したという明るいニュースが流れました。北里大学の犬村智特別荣誉教授(80歳)が医学・生理学賞、東京大学宇宙線研究所長の梶田隆章教授(56歳)が物理学賞をそれぞれ受賞しました。犬村教授は、土中の微生物から抗生物質をつくり、熱帯地方の風土病の特効薬を開発したことが高く評価されました。今でも3億の人が救われていると言われています。一方、梶田教授は、(一般人には極めて難解ですが)物質を構成する基本粒子の一つ「ニュートリノ」に質量があることを裏付ける「ニュートリノ振動」という現象を世界で初めてとらえたことが受賞の理由となりました。

犬村教授は山梨県の農家に生まれ、山梨大学を卒業し都立高校定時制の教師になります。そのとき、生徒の学ぶ姿に胸を打たれ「勉強し直さないとだめだ」と思い直し、東京理科大学大学院で学ぶなど研究者への道がスタートしました。そして、「人のまねはしない」という信念のもと、ひたすら微生物研究に打ち込み、ゴルフ場の土壌から前述の特効薬となる微生物の発見に至りました。「皆で汗をかけた仕事が評価され、うれしい」という受賞後の言葉から、長年の努力の積み重ねがあったことが十分伝わってきます。

梶田教授は本県東松山市の生まれで埼玉大学出身、埼玉県出身者のノーベル賞受賞者は初めてということもあり大きな話題にもなっています。農家の生まれでのんびり育ち、研究者になる自信はなかったそうです。それでも、埼玉大学卒業後、純粋に物質の根源を追究したいと東京大学大学院に進みました。素粒子を研究する「カミオカンデ」実験に関わり、自分の予測とは異なる計算結果に「何かあるのではないか」と感じてから10年経った1998年、ようやくニュートリノの質量について発表することができました。「カッコいいものは持ち合わせていない。きちんと研究を進めてきたのがよかったと思う」と受賞の喜びを語っていますが、好奇心をもち地道に研究を続けてきたことからこそ大きな成果につながったのでしょう。

こうした二人の姿を見ていると、自分のやるべきこと・やりたいこと(目標)に向かって、長年研究を続けてきた強い意志が伝わってきます。また、たとえ失敗や困難に遭っても、それらを上手に受けとめ、乗り越えたりしのいだりする粘り強さも浮かんできます。目標に向かって一つ一つ積み重ねていく大切さ、「継続は力なり」であることを改めて感じさせてくれました。

そして、犬村教授は「これまで歩んできた道を振り返って、随分いろいろな人に助けられ、応援してもらったり、教わったりしてきたなあ……」、梶田教授は「研究は一人でできるようなものではなく、チームが一つの目標に向かって共同で研究して成果を出していく……グループ全体の榮譽」と話しています。決して一人の業績ではなく、仲間や協力者があっての受賞であったことにふれている点、実に謙虚・誠実なところもとても印象に残りました。

夢七訓 ※ 渋沢栄一の言葉として広まっています。

夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし
ゆえに 幸福を求める者は夢なかるべからず





幡羅小ニュース ～秋の深まり、学びの深まり～

10月10日(土)開校130周年記念運動会～たくさんの感動、ありがとう♪～



★10月10日、たくさんの保護者・地域の皆様にお越しいただき、開校130周年記念運動会が行われました。子どもたちは練習の成果を存分に発揮し、開校130周年を祝う感動いっぱいの素晴らしい運動会となりました。どの学年の演技も息がぴったりと合い、学年のまとまりと力強さを感じました。また、4年から6年の代表児童が率先して各団をリードしたり（応援団）、開閉会式の運営をしっかりと進めてくれました。来賓の皆様から「校歌や応援の声が実に見事です」「演技も競技もみんな一生懸命ですね」「学校全体がまとまったいい運動会になりましたね」などと、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。一人一人が運動会で学んだことをこれからの学校生活に生かして行ってほしいと思います。

★優勝：赤組 732点 準優勝：黄組 713点 3位：青組 709点



【子どもたちの声】

☆つなひきをがんばりました。よこになって力いっぱいつなをひきました。らいねんは、ことしよりももっとかづよくつなをひきます。【1年】

☆うんどう会でがんばったことはダンスです。なぜかという、ダンスリーダーで、休みじかんをなくして、みんなとがんばってきたからです。【2年】

☆80m走のれんしゅうをして、はじめは2ばんだったけど、ほんばんで1いがとれました。はじめて1いがとれたのでうれしかったです。【3年】

☆運動会で一番がんばったことは応援団です。なぜかという、練習したせいかを出し切って大きな声を出してがんばったからです。応援合戦の結果は一位だったのでとてもうれしかったです。【4年】

☆組体操をがんばりました。1人から5人までの技を毎日練習してきました。特にできなかった技が5人組の花です。私たちの班だけでできなかったけど休み時間を使って本番ではきれいにできました。【5年】

☆組体操で、みんなを支えるのに力が必要だったけどがんばりました。練習も1日も休まずがんばりました。【6年】

☆今年の運動会は、6年間の中で最高の運動会でした。特に、組体操は全ての技が成功することができて、とてもうれしかったです。優勝できたことは一番の思い出になりました。【6年】



10月6日(火) 6年生・親善運動会 ～全力を出し切りました～

★10月6日、仙元山陸上競技場にて、市内19校の6年生が一堂に集まり親善運動会が開催されました。爽やかな秋空のもと、幡羅小の6年生は日頃の練習の成果を十分発揮してくれました。中でも、学級対抗縄跳びを3クラスとも400回を超えたということは大変素晴らしいことです。クラス・学年がまとまっていたからこそできたのではないのでしょうか。心を一つにして取り組む姿、よき手本を下級生に示すことができた6年生でした。



親善運動会で学んだことは、個人の技術も大切だけど、みんなと協力し合うことです。協力すれば、なんでもできるということがわかりました。

バトンパスができないことがあったけれど（練習）、本番では上手にできてよかったし、長縄も430回以上いきました。チームワークはとても大事だとわかりました。



10月22日(木) 開校130周年記念 航空写真撮影 ♪



★10月22日、天気にも恵まれ、開校130周年を記念する航空写真を撮影しました。児童と職員の「人文字」で校章を表しました。

※写真購入の申し込みは、11月6日まで受け付けます。写真はフリー参観のときに見ることができます

【もみじ読書月間：10月26日～11月30日】

もみじ読書月間では、「読書ビンゴの取組」や「おすすめの本の紹介」など読書の習慣化に努めていきます。「本は心の栄養」といわれます。読書をとおして新しい知識や言葉、考える力が身につく、豊かな感性や思いやりの心などが育まれていくのだと思います。家庭においても、家族みんなで好きな本を読み、あるいは同じ本を読み、感想を話し合うなど、本に親しむ機会を工夫してみたいかがでしょうか。

「少年時代の頭脳に記憶したる事は老後に至っても消失せず、明確に存在しておるものである。ゆえに習慣は少年時代がもっとも大切である」 渋沢栄一

「バストリーダー」 ※10月23日現在

1年：41冊	五十嵐 日和	2年：51冊	大島 優希	3年：67冊	吉野 悠登
4年：55冊	伊東 祐貴	5年：54冊	加藤 慧大	6年：48冊	清水 悠衣

